



鬼怒川河川敷に50万本のポピー

第30回花とふれあいまつり開催 5月16日



鬼怒川河川敷を彩るポピー

5月9日～23日、ポピーの花が見頃となった鬼怒川フラワーライン（鬼怒川大形橋上流左岸）では、「第30回花とふれあいまつり」が花と一万人の会により開催されました。16日には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮し、催事は行わず、同会で設置した案内所などで、花の種や風船などが配布され、来場者は満開のポピーを楽しんでいました。



苗を植える児童たち

宗道小学校の5年生2クラス61人が、同小近くの水田で田植え体験を行いました。田植え体験は、例年JA常総ひかり下妻千代川支店や同小PTAが協力し、田植えの方法などを指導しています。水田に入った児童たちは、横一列に並び、緑の苗をつまんで丁寧に植え付けを行っていました。

5年生の酒寄天真^{さかより てんま}さんは、「美味しいお米ができてほしいと思います。苗を上手に植えられ、楽しくできました」と話しました。

豊かに実れおいしいお米
宗道小学校で田植え体験授業 5月6日



左から池田さん、市長、川澄さん

多賀谷時代まつり実行委員会（川澄次男実行委員長）が「多賀谷氏家紋幕（瓜に一文字）」を作成し市に寄贈しました。多賀谷城跡公園（本城町2-50）で行われた贈呈式および設置式には市長、川澄実行委員長、池田副実行委員長など関係者が参加しました。

令和3年は、寛正2年（1461年）に多賀谷氏が下妻城（多賀谷城）を築城してから560周年となる節目の年です。この家紋幕は、それを記念して、下妻の戦国武将多賀谷氏をPRするため作成したものです。

下妻城築城560周年記念
「多賀谷氏家紋幕」贈呈式および設置式を開催 4月30日

市民が主役のまちづくりへ ～市民協働の取り組み～

市では、市民が主役のまちづくりに向けて、市民や市民団体がそれぞれの役割を補いながら、共通の目的のための協力・協働する市民協働の取り組みを進めています。令和2年度に開催した取り組みを紹介します。

1 自治区長と市長の対話集会

自治区長と市長がフリースペース形式で話し合う対話集会を各中学校区単位で開催しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防対策の一環として、参加者を代表区長のみ絞って開催しました。延べ45人の代表区長が参加し、身近な道路整備や空き地の管理、防災無線のデジタル化、河川の防災、高齢化の諸問題など、多岐にわたる意見や要望が出されました。

2 どこでも市長室

地域で活躍している団体などと市長が直接話し合い、まちづくりへの提案や意見交換を行っています。「こんなまちになったらいいな!」「こんなことをやってみたら?」の提案をもとに市長と意見交換を行う団体（市内在住・在勤などの10人以上で構成される市民団体・自治区など）を募集しています。

◆令和2年度の開催状況



（もみの木保育園）



（女性団体連絡会）

（※提案の内容などは、市民協働課および市ホームページで公開しています）

申込団体名	意見交換のテーマ
もみの木保育園	新型コロナウイルスの予防策、保育全般など
女性団体連絡会	下妻公民館の利用、行政のデジタル化、ごみの分別など

3 市民協働のまちづくり推進交付金

市民活動を始めるためのきっかけづくりを目的として、地域の活性化や課題解決につながる新規事業を行う場合は、その費用の一部を補助しています。なお、新規事業を継続的に実施する場合は、5年を限度に補助の対象になります。（※市民活動団体の経常的な活動や運営に関するものは対象となりません。）

◆交付金額 1団体につき、事業費の2/3以内で10万円まで交付（※初年度）

◆令和2年度の交付団体・事業内容など



（写真は平成29年当時のものです）



団体名	事業内容	交付金額
黒駒ふるさとクラブ	黒駒地区の環境整備	100,000円

「どこでも市長室」の申し込みや「市民協働のまちづくり推進交付金」の申請については、市民協働課までお問合せください。なお、実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を徹底し行ってください。

問い合わせ 市民協働課 ☎43-2114 FAX43-1960

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄